

事 務 連 絡  
平成14年2月14日

東京大学アイソトープ総合センター 殿

文部科学省科学技術・学術政策局  
原子力安全課放射線規制室

石 田 正 美

ブッシュ・アメリカ合衆国大統領来日に伴う警察庁からの要望について

ブッシュ・アメリカ大統領合衆国大統領夫妻一行が、日米首脳会談等のため来日することを受け、別添のとおり警察庁より当省に対し警備協力の要望がありました。

貴大学におきましては、放射線障害防止法に基づく適切な管理に努められていることと存じますが、本件警備協力の主旨を踏まえ、放射性同位元素等の管理の徹底について改めて注意を払っていただくよう宜しくお願いいたします。また、本件については、貴大学内の各事業所に対しても周知し、注意喚起を図っていただくようお願いいたします。

なお、放射性同位元素等の管理に関して、少しでも不審なことがあった場合には、治安当局及び当室に速やかに連絡してください。

本件連絡先：文部科学省科学技術・学術政策局

原子力安全課放射線規制室

室長補佐 牧 慎一郎

(tel):03-5253-4043

(fax):03-5253-4048

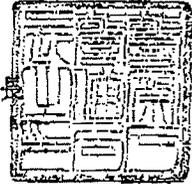
(別添)

警察庁丙備発第25号

平成14年2月5日

文部科学省大臣官房長 殿

警察庁警備局長



ブッシュ・アメリカ合衆国大統領夫妻一行の来日に伴う警備協力について(要望)

貴台におかれましては、平素警察運営に際してご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。次第であります。

さて、ブッシュ・アメリカ合衆国大統領夫妻一行が、平成14年2月17日(日)から19日(火)までの間、日米首脳会談等のため来日する予定であります。

昨年9月11日に米国において発生しました同時多発テロ以降、国際テロの情勢等は非常に厳しいものがあり、今次来日に伴う警戒警備等においても、同大統領一行や日米両国の関連施設等を対象としたテロ・ゲリラ等の発生が懸念されるなど、大変な困難を伴うことが予想されます。

警察としましては、同大統領をはじめとする関係者の安全確保と諸行事の円滑な遂行等、警備の万全を期するため、総力を挙げて各種警備対策を推進しているところであります。

貴台におかれましても本件警備の重要性をご賢察のうえ、次の事項につきまして指導を強化されるなど適切な措置をとられますよう要望いたします。

## 文部科学省に対する要望事項

- 1 各学校、研究所等における毒・劇物、火薬類、その他危険物の管理強化
- 2 原子力施設及び放射性物質等の保管等に対する自主警備体制の強化
- 3 自主警備体制の強化
- 4 通報連絡体制の確認
- 5 関係情報及び不審情報の通報連絡
- 6 来日期間中の特定地域（東京都内）における行幸の抑制等
- 7 業務車両、制服等の盗難防止と盗難時の警察への通報連絡